

# なぎそ 議会だより

## 平成30年第1回臨時会・委員会報告

### 第1回臨時会 可決議案と質疑 (2月9日)

**●財政調整基金の処分**  
職員の退職にあたり発生する特別負担金に充てるため取り崩すものです。

**●教育委員の任命に同意**

教育委員1名の任期満了に伴う後任の教育委員です。

勝野 忠 (三留野)

#### 補正予算審議

##### 坂本議員

**Q** 12月議会で就学援助金のうち入学準備金の前倒しを検討するということがあったが。

**A** 教育長  
小学校から中学校に上がる段階での対象者には、3月までに手当てできるように制度を見

直して準備しています。

**Q** 国保の状況はどうなっているか。

**A** 住民課長

平成30年度から、市町村が納付金を県に納めて県が医療費を支払うという納付金方式に統一されます。

県の示した保険税率指標は、町の税率とほぼ変わらない状況です。平成30年度に向けては、激変緩和措置もあり町の税率変更はしない見込みです。

##### 高橋議員

**Q** 天白地区の宅地造成の進捗状況、分譲の時期は年度内になるか。

**A** 戦略室長  
2月5日に入札を行います。売り出しの時期は3月を目安に検討していきます。

**Q** 子どもの数が減っており、保育園の運営に支障が出るのではないか。保育園の統合を考える時期ではないか。

**A** 町長

統合する適地がなく当面は現状のまま運営する方針が出されて5年以上が経過しました。未満児保育等のサービスのあり方、改修した施設の利用等も含め、保育所審議会にも意見を聞き、町としての方針を早いうちに出していきたいと思えます。

##### 近藤議員

**Q** 町道大原線の等覚寺手前から浄水場下付近までの舗装工事をを行ったが、地振要望の



舗装後の大原線

ある北沢木工から浄水場下までの拡幅改良を併せて行わなかった理由は。

**A** 建設環境課長

災害工事の関係で道路が傷んだため、舗装修繕を先行しました。

##### 松原議員

**Q** 先日行った支障木の配布の状況は。

**A** 建設環境課長

モデル事業として配布を行い、約25件の希望者がありました。多

くの希望者もあり、募集方法とか支障木の置き場所など、来年度に向けてさらに検討し進めていきます。

##### 矢澤議員

**Q** 今年も数名の蘇南高校の下宿希望者がいる。下宿施設を考える必要があるのでは。

**A** 教育長

協力してくれる方を探している状況です。寮制度の研究も必要と思っています。

### 平成29年度補正予算

#### ●会計別補正予算

(単位：千円)

会 計	補正額	補正後の金額
一般会計	△ 2,270	3,931,327
国民健康保険特別会計	△ 10,624	542,000
簡易水道事業特別会計	△ 6,598	149,279
町営妻籠宿有料駐車場特別会計	△ 1,380	37,437
下水道事業特別会計	600	90,228
農業集落排水事業特別会計	1,018	81,312
浄化槽市町村整備推進事業特別会計	1,608	109,359
後期高齢者医療特別会計	△ 1,002	74,175
宅地造成事業特別会計	増減なし	21,500

議会運営委員会報告

国会議員、関係省庁・団体などへ陳情活動

砂防・治水、道路、農林行政、地域医療など議会には諸々な分野の要望が寄せられています。

2月14日15日の両日、国会とその周辺に赴き、町の直面する諸課題について住民を代表する立場から、関係者への陳情と、各方面で町に対してご配慮いただいていることへの感謝を表しながら意見交流するなどの活動を行いました。



国会議員や関係省庁を訪問しました

陳情と視察の記

2月14日と15日に議員8名が上京し、長野県関係の国会議員17名と国土交通省砂防部、同省鉄道局、林野庁国有林野部、一般社団法人全国治水砂防協会へ表敬訪問と陳情活動を行いました。

国会議員への訪問では、本会議中の多忙な時期にもかかわらず、丁寧に対応いただき、町の諸課題17項目について陳情しました。

省庁・団体関係では、国土交通省砂防部と一般社団法人全国治水砂防協会で、梨子沢の災害復旧を含め砂防事業の御礼と今後の事業の推進をお願いしました。

南木曾小学校児童による砂防学習の成果をまとめた「伊勢小屋沢災害新聞」を手渡したところ、国交省砂防部長からは、「小さい頃からの防災教育

が大切です。」との共感の感想がありました。

国交省鉄道局では、リニア新幹線工事による水道水源や残土等の諸課題について、工事前に町との協定を締結するようJR東海への指導等を要望しました。

林野庁国有林野部の訪問では、国有林野事業の推進とそのため職員の増員を要望しました。

地元選出の後藤茂之代議士とは1時間半ほどの懇談会の中で、町の諸課題・陳情事項へのアドバイスや、「税制改正」等の国政の最新情報の説明をいただくことができました。

国会の見学では、衆議院予算委員会を傍聴し、「働き方改革」や「国有地売却に係る書類の扱いの責任問題」を議論する議員と大臣の生の姿を目の当たりにしました。

今回の活動は、国会議員や関係省庁等へ、日頃の活動の御礼と町の諸課題を知っていただき、今後の具体的な要望活動に繋げていくという意味で実施しました。当日不在の国会議員からも「懇談の場を持ちたい。」との連絡も後日あり早速の効果を感じています。

一議員としても、各方面の情報やアドバイスを受けることができ、今後の議員活動に生かせる活動となったと思います。

(記・委員長 高橋 進)

臨時議会での町長報告 坂下病院についての中津川市への対応(要旨)

去る1月30日に中津川市副市長が来町し、坂下病院の運営経費に係る協力支援の申し出がありました。

このことへの対応ですが、どこの自治体であっても協定や条例などの定めのないものに支出することはできません。以前は建設費負担金や救急負担金など、予め協定に定められたものについて負担をしてきました。建設費負担金はすでに終了し、救急負担金については救急医療が大幅に縮小して実績が無いことから支払われていないのが現実です。

今回の申し出に対しては、事情は分かるにして

も、取り決めの無い方法で赤字の穴埋めを応援することになり、協定などが無い現状では支払えない旨を中津川市側に伝えましたので報告しておきます。

今後については通院バスや、救急方法など何らかの取り組みや新たな考え方がでてきて、南木曾町としても中津川市にお世話になるうえで必要となれば、議会にも協議をした中で負担していくこととなります。

また、地域医療の充実や医師確保などの課題には、木曾郡内自治体や中津川市と連携しながら、国などへの要請も含め対処していく考えです。